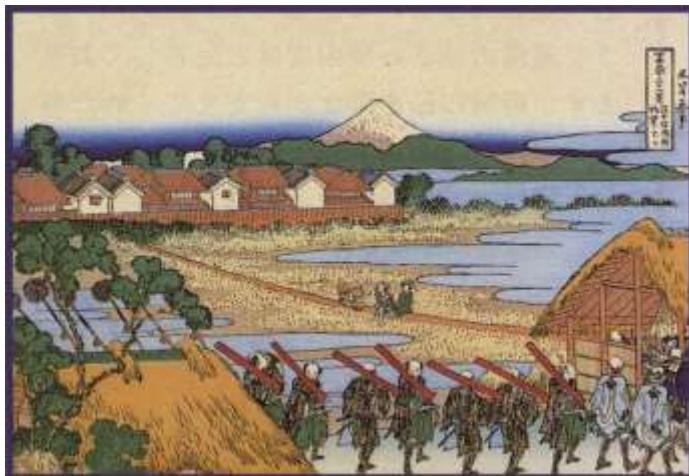


WEEKLY REPORT

例会日 木曜日 12:30~13:30
例会場 上野精養軒 TEL.03 (3821) 2181
事務所 〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-1-5 A ビル 6F
TEL.03 (5637) 4602 FAX.03 (5637) 4611
<http://www.tokyo-kohoku-rc.org>



葛飾北斎描く千住より眺望の富士

東京江北ロータリークラブ

会長 渡邊浩／会長エレクト 張替俊光

幹事 影山幸一郎／副幹事 中山高徳

会報・IT委員長 原田寛

Rotary



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

SERVE TO
CHANGE LIVES

RC会長

渡邊 浩

RJ会長

シェカール・メータ

第2952回 2022年4月21日

Rotary Rate 122円

2022年4月14日 第2951回例会報告

点鐘

ロータリーソング 「我等の生業」

来賓

- ゲスト
太田旭氏 (ゲストスピーカー)
- ビジター
なし

セレモニー

- クラブ基金寄付… 海老沼孝二君
原田寛君
- あいあい特別寄付…原田寛君

会長報告

● 先週末に家族親睦旅行会があり、22名の会員、ご家族の皆様にご参加いただきました。おかげさまでお天気にも恵まれ、また満開の桜も愛でることができ、事故もなく大変楽しい旅行会になったと思っております。ご参加いただきました皆様と、楽しい旅行を設営いただきました親睦活動委員長の細沼さんに心より御礼申し上げます。

幹事報告

- トンガ支援金の件 合計53,000円が集まり、地区に送金済み

- 第9回ワークショップ「女性の活躍とロータリーの未来」5月10日(火)に開催
4月15日締め切り
- 潤徳インタークトクラブ例会
4月28日(木)

委員会報告

- 親睦活動委員会…家族親睦旅行会4月9日10日で無事終了。参加されなかつた方にお土産を用意。今年度最後の親睦活動として、親睦ゴルフ会を企画。6月12日(日)13日(月)伊東の川奈ホテル。13日がコンペ(富士コースを予定) (前泊、宿泊いただくのが参加条件) 4月28日締め切りまで
- 副幹事…例会終了後 被選理事会 竹の間にて 13時40分～
4月15日地区研修協議会 椿山荘にて
12時30分～

出席報告 会員46名中34名 出席率76%
Remote 1名

前々回の出席率 93.48%

ニコニコ(●^o^●)ボックス

- 結婚記念日祝 …田中君 羅山君
…船木君

THE ROTARY CLUB OF TOKYO-KOHOKU

- 渡邊会長 影山幹事…先週末、富山への家族親睦旅行会にご参加頂きました皆様、大変お世話になりました。桜も満開で、とても楽しい旅行になりました。本日の卓話者の太田様、宜しくお願ひ致します。
- 細沼君…富山を巡る家族親睦旅行会にご参加いただき、ありがとうございました。本日の卓話者「太田旭」さんを宜しくお願ひします。
- 成田君…三女もようやく小学校に留学進学しました。これで一息つきました。
- 家族親睦旅行会参加者一同（渡邊君 影山君 海老沼君 原田君 伊藤君 船木君 小林君 羅山君 芝君 畠山君 張替君 中山君 今井君 人見君 高橋(史)君 土屋君 松井君 岩崎君）…家族親睦旅行は天気も良く、とても楽しかったです。
- 家族親睦旅行会に行けなかった一同（佐藤(徹)君 田中君 鈴木(喬)君 福本君 樽澤君 小出君 守屋君 ベルマン君 長谷君 鈴木(又)君 高橋(秀)君 芦川君 君塚君 成田君）…旅行に行けなくてゴメンナサイ！お土産ありがとうございました。

合計 51,000 円 累計 1,486,198 円

卓 話



4月14日(木)の卓話は、一般社団法人才オルスター代表理事/国際栄養士太田旭氏より「アフリカ・ラテンアメリカ・アジアの栄養改善例」という演題でお話いただきました。

2011年までは普通の栄養士として目の前のお客様に笑顔になってもらうべく働いていたが、法律上の規制で前日に御出汁を仕込むことができない、生の野菜を提供できないという、提供したいものが出来ないといった難しい現実があった。

栄養士と国際栄養士の違いとして、栄養士は厚生労働省が定めた規定に沿って日本人を相手に食事・栄養の管理を指導する。これに対し、国際栄養士は世界保健機構 WHO の規定に沿って、または担当の国の政策や法律に沿って食事・栄養の管理を指導する。といった違いがある。

本日の卓話

「私の相撲人生～足立区で親方になるまで」

放駒親方/元関脇 玉乃島関

岡部 新氏

紹介者 土屋君

栄養士の時は法律を変えることが出来なかったが、国際栄養士になってからは、海外の保健省に所属して法律の政策提言できるようにプレゼンするなど3年間活動していた。その3年間で栄養学・医療・福祉の力だけではどうにもできないことがあると気付き、様々な職種、人脈の力を借りるために教育というジャンルを選び、注力。例えば3か月間、私がそこで活動している間は問題ないが、私が移動したら地域の人々は伝える人がいなくなってしまう。それを改善するために活動中、地域のお母さん方にできるだけの情報を伝え、お母さん方自身に伝える側の人になってもらう。そういう活動をアフリカ・ラテンアメリカ・アジアで行ってきた。

よく成功の秘訣を聞かれるが、「原因と結果を正しく分析することが重要」だと私は考える。

状況を分析すると栄養学的原因が少なく、食事以外の原因が多いなと国際栄養士をやってから気づいた。体験談として、ある共和国の子供の栄養不良が世界で一番多いといわれていて、調査していくとどうやら低年齢、12、13歳での出産が多いという原因がつかめた。少女という年齢で、まだ自身も体が小さく成熟していない状態で妊娠するので、お子様も低体重で栄養不良という負のサイクルが続いている。ではこれに対してどのような解決策を見出していくのか。その時に出てきたのが性教育の提供、栄養補助食品の提供、未成年に分娩補助金を提供しない、未成年の妊娠が良くないという意識変革の改革、あとはセンシティブな問題であるが中絶の推奨、宗教上中絶を認めないといったことがあるため、場合によっては一つの策なのだと情報を提供。

上記の解決案を検討していたが、違うと気付いた。なぜならば、調査の結果12、13歳の妊娠していた子の89%が親族による強姦、レイプだったことが分かったからである。このように広い視野をもって原因を解明することで、正しい結果に繋げることが出来る。間違った原因のまま解決策を提示してもそれは解決策にならないのである。

現在も外務省、大学研究機関、様々な場所からご依頼いただくことが多く、国が推奨する栄養補助食品を配布し、フィードバックを取りまとめて国に政策提案をする、栄養士を集め研修を行う、といったことを行っている。実際に調理実習なども行ったが、栄養について研修してきたけど調理実習は初めてという方や、離乳食をずっと教えてきたけど、実は離乳食を作るのが初めてという方もいた。こうやって講話や、研修をしている中で私は弱いかもしれないがそれが企業の力、日本人の力、地域の力、国の力となっていく。皆さんもロータリークラブで奉仕活動をしていると伺いましたので、要望があればぜひ呼んでいただければと思います。

次週卓話予定 4/28

「高等教育の現状について」

潤徳女子高等学校 校長

木村美和子氏

紹介者 鈴木(又)君

